

令和7年度マスター・オブ・ワイン向け日本ワイン関連イベント

- 国税庁では、令和8年3月に、世界最高峰のワインの資格であるマスター・オブ・ワイン（以下「MW」といいます。）の資格を有する30名を、日本ワイン関連イベントや日本酒シンポジウムなどに招聘しました。
- 今後、本イベントに参加したMWによる国際的な情報発信力により、海外における日本産酒類の認知度向上等が期待されます。

日本ワイン関連イベント

MWに対して、大橋健一MWが日本ワインセミナーにおいて日本のワイン産地の特徴や日本ワインの特性について説明したほか、日本ワインの製造者約30名とMWによる試飲講評会を実施しました。



【MWによるコメント】

- 私たちは皆、日本ワインの将来に強い期待と高揚感を抱きました。
- 生産者の方々と直接お会いでき、日本が提供するワインの品質やスタイルの全体像を把握できたことは非常に有意義でした。

【参加ワイナリーのコメント】

- このようなイベントは単独企業では実行することが難しいため、またサポート頂けると大変ありがたい。

日本酒シンポジウム

普段日本酒に触れる機会の少ないMWに対して、日本酒の講師が日本酒セミナーにおいて、日本酒の歴史や特徴などについて説明したほか、日本酒の酒蔵約20名とMWによる意見交換会を実施しました。



【MWによるコメント】

- これまで日本酒について体系的に学ぶ機会がなかったため、今回の経験は本当に素晴らしいものでした。
- 日本酒を評価するにはワインとは異なる視点が必要であり、ワインに慣れた味覚を調整するのは容易ではありませんが、より香り高いスタイルに魅力を感じました。

【参加酒蔵のコメント】

- MWの視点で自社商品のコメントをお聞きすることができ、今後の良い参考になりました。